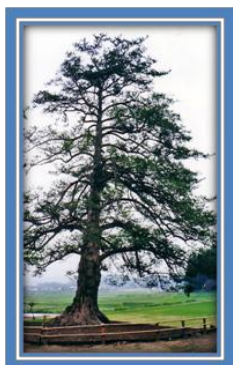


# 浜子の歴史と景観を守る会



甦ったご主木「榧の樹」

行基菩薩開基の建暦寺（鎌倉初期に朝廷から勅許され元号を寺号とした全国的に貴重な寺院）には、県や市指定の文化財等貴重な歴史的資産が保存されている。また、ご主木「榧の樹」は数百年の間、人々の暮らしを見つめてきた地域のシンボルとしての景観を創出している。歴史的資産や長い年月育んだ自然の景観は、現代の私たちには創り出す事が出来ない貴重なものであり、この“地域の宝物”を地域全体で守り、共に学びながら後世に伝え、歴史をつないでいくことが「守る会」の役割である。

## 活動内容

活動内容は「榧の樹」の保存管理、建暦寺宝物庫の保存管理、里山の復元事業、竹炭焼の体験学習、多団体との交流等、宗教活動はしていない。数百年の歴史を止めるわけにはいかないという思いから、次につなげる活動を展開している。活動の第1弾として、建暦寺を訪れた方に渡すためのパンフレット・冊子を、自分たちも学びながら作成した。又、建暦寺の案内板の作成、設置。「榧の樹」を市の保存木に指定。里山の復元（里山孟宗竹の間伐・整理、浜子古道の復元）、炭焼き体験学習は月1回開催し、孟宗竹炭、竹酢液、杖等を製品化している。

多団体との交流会も実施し、佐原町並保存会、長南たけもりの里、銚子外川の町づくりの会等と見学交流を実施した。また、建暦寺見学者の対応（ガイド役を務める）等も実施している。



「榧の木」の手入



開通した浜子古道

## 景観とは何だろうか

景観はみんなのものであり、一朝一夕にはできないものであり、自然と人間が入り混じっている現実の様を言う。歴史的な景観の価値でいえば、各時代をつないでいる生き証人と言える。歴史文化を伝えるもの、地域の宝物、風景の核となるものが景観。景観10年、風景100年、風土1000年と言われている。周南地域には他にもたくさん宝物があるが、他の地域と連携してそれらを未来へつなぐ取り組みが重要である。



奉仕作業



竹林間伐作業



榧の木施肥作業



炭焼き体験学習

活動開始	会員数・年齢層	活動日・回数	会員の主な居住地域	連絡先
平成23年3月	38名(50~80代) 平均年齢64.9歳	第2・3日曜日 月2~3回	君津市浜子地域	0439-52-6441 (花島 正信)